

令和7年度 定時制の課程 (第72回) 卒業証書授与式 式辞

ふと気づけば厳しい寒さの冬であったことを忘れるような春をおおむねの日々がきたと思えば、雨とともに寒さを思い出させるという、季節の移ろいを強く感じさせる今日の良き日に、大阪府立三国丘高等学校 定時制の課程 第72回 卒業証書授与式を挙げて下さることを、教職員一同 この上ない喜びを感じております。

卒業生を送るこの良き日に、多数のご来賓の皆さまに、ご多忙のなか、ご臨席たまわり、まことにありがとうございます。高いところからではございますが、心から厚く御礼申し上げます。

さて、ただいま17名の皆さんに、卒業証書を授与いたしました。卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、本日まで、お子さまの成長を願い、日々温かく見守り、支えてこられた保護者の皆さまや、関係の皆さまにおかれましても、卒業を迎えて、感慨ひとしおのことと拝察し、心からお祝い申し上げます。まことにおめでとうございます。

卒業生の皆さん、皆さんはさまざまな思いから本校で学ぶことを選択し、今、ここに卒業の日を迎えました。在校した期間に違いはありますが、今日のこの日を迎えるまでに、さまざまなことがあったと思います。学校へ来ることの意義がわからず、迷ってばかりいたり、自分の人生はこれでいいのかと自問自答する日々であったり、先の見えない不安の中に自分を見失いかけたこともあったりしたことでしょう。担任の先生たちからも、よく聞きます。でも、そのあとしばらくすれば、学校へ来るようになりました、とうれしい報告がきます。皆さんは、そんな苦勞をのりこえて、今、この場にいます。

一時間目が始まる18時ころ、秋をすぎると登校時間は真っ暗でした。もちろん、下校時には四季を問わずに、ずっと真っ暗です。でも、三国丘高校定時制の校舎はいつも灯りがついています。暗闇の中に浮かぶ三国丘高校の教室の灯りは希望の灯りです。希望の灯りのなかで皆さんは学んできました。学びをそれぞれの人生の糧とし、これから生きていく自信につなげてきたことと思います。夜に学んだ皆さんは、暗闇の中にある一筋の灯りの明るさを知っている人たちです。闇の中にも希望の灯りがあることを体感してきた人たちなのです。

本校の教育目標には、「過去は変えられないが未来は変えられる」という言葉が入っています。集会のたびにこの言葉についてお話してきました。本校にとって、大事な言葉です。過ぎ去った過去は、だれにも変えることはできません。でも、その過去は今の自分を作った過去です。未来はこれから自分でどのようにもつくることができます。過去に縛られない、とらわれない、新たな自分の人生を形作ることができます。その未来をつくるのは皆さん自身です。本校で学んできて、未来をつくる力を手に入れることはできましたか。日々の学びの中で、毎日の友達とのふれあいの中で、先生たちとのかかわりの中で、育てることはできましたか。

夜に学んできた皆さんを見ているときに、ふと思った言葉があります。最澄という人の言葉ですが、「一隅を照らす」という言葉です。「一人ひとりが自分の場所で、自らが光となり周りを照らしていくところこそ、私たちの本来の役目であり、それが積み重なることで世の中がつくられる」という意味です。広い世界の中で、自分のいる居場所で力を果たすということです。さらに、「一隅を照らす」の後には続きがあります。「一隅を照らす これすなわち国宝なり」と言います。国宝とは国の宝のことを指します。つまり、国の宝はお金や財宝ではなく、自分がいる場所で一生懸命努力をしていくことで、自分自身が光を放つのです。その時の自分の居場所で、自分らしく精一杯、力を尽くしていけば、それがやがて大きな

光となって、この世の中を照らすことができるのです。これこそが、その照らす人たちこそが国の宝だと言うわけです。

皆さんが登校してきた時、正門で「おはよう」と、先生や学習支援員さんたちが迎えてくれました。困った時には、スクールソーシャルワーカーさんやスクールカウンセラーさん、保健室や相談室で悩みを聴いてもらったこともあったでしょう。また、友達とともに喜びや悲しみを分かち合ったこともあるでしょう。家族にも悩みを打ち明けたこともあるでしょう。

今まさに、ここにいるのは、家族、友人、先生たちがあなたを支えてきてくれたからです。そのかかわってくれた人たちに感謝するとともに、やがて出会う人たちにも感謝の心をもって、接してください。周りの人を照らすことのできる人になってください。

最後に、皆さんを支えてくれた、方たちへの感謝を忘れずにこれからの人生を歩んでください。そして、一人ひとりが輝ける存在となり、悩める誰かの導きの光となってください。

卒業おめでとうございます。皆さんの新たな門出に、幸せにみちあふれた人生があることを祈念して式辞といたします。

令和8年3月3日

大阪府立三国丘高等学校 定時制の課程

准校長 安達 武史